

人物紹介

聖徳太子



574年 2月7日 ~ 622年 4月8日

古墳時代後期 ~ 飛鳥時代

叔母の^か推古天皇の下、^せ摂政として
^か蘇我馬子と協調して政治を行い、
 国際的緊張のなかで^せ遣隋使を派遣
 するなど中国大陸を当時統治して
 いた隋(現中国)から進んだ文化や
 制度をとりいれて、冠位十二階や
 十七条憲法を定めるなど天皇を
 中心とした^せ中央集権国家体制の
 確立を図った。このほか仏教を厚
 く信仰して興隆に努め、後世には
 聖徳太子自身が日本の仏教で尊崇
 の対象となった。

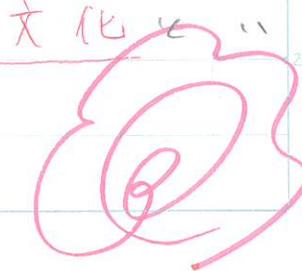


聖徳太子がしたこと

- ① 法隆寺をたてた 仏教を広めるために建てた
- ② 冠位十二階をつくら た 家柄ではなく、
- ③ 十七条憲法を定めた 能力で役人を決めた 役人の心がまえを示した
- ④ 天皇中心の国づくり 豪族の蘇我氏と協調
- ⑤ 遣隋使の派遣 隋に小野妹子を送った し政治を行なった

ポイント 

聖徳太子は 推古天皇のおい
 天皇のかわりに政治をおこなう人
 となった。このことを「摂政」と
 いう。603年に「冠位十二階」を
 制定。これは能力のある人を
 優先的にする制度のこと。
 「十七条の憲法」を定めた。
 役人の心がまえを17個定めたもの。
 607年に遣隋使を隋に遣いとして
 送る。聖徳太子が政治をおこな
 っていたころの文化を飛鳥文化とい
 う。法隆寺を建立した。



聖徳太子と関係のある人物
 聖徳太子と協力して、政治をおこなった。→蘇我馬子
 遣隋使として隋に2回も渡った。
 →小野妹子

まとめ 聖徳太子は、蘇我馬子と協力し、政治をおこなった。その中で、法隆寺を建立、十七条憲法を定め、冠位十二階をつくった。聖徳太子は摂政として天皇でもないのに政治をつくった。簡単にいうとすごい人!

⑤ 聖徳太子は摂政で天皇じゃないのに蘇我馬子と政治をおこなった。こゝが分かったし、びっくりした。小野妹子を遣隋使として隋に2回も送ったことを初めて知った。次の偉人についてもうくわしく調べたい。

学校で学習したことを、さらに深く調べ、分かりやすくまとめることができたね! ⑥ ふりかえりもちゃんと書いていって!!



※ 推古天皇 日本の第33代天皇。天皇が女性だ。そのため、聖徳太子が政治をおこなった。摂政天皇が幼少や病弱であったり、または女帝のときにその代理として政務を行う官職。蘇我馬子 蘇我馬子は、飛鳥時代の政治家、貴族。聖徳太子と協調して政治をおこなった。遣隋使 推古天皇の時、中国文化を輸入するため、日本から隋に派遣された使節。

中央集権 国の政治の権力がすべて中央政府に集中していること。

